

ふれあい キョウソウ

収穫が楽しみ！

5月20日、ふれあい農園において「コープさっぽろお米たんけん隊田植えツアー」が実施されました。この日はお天気も良く、まさに田植え日和。札幌から参加された42名の皆さんもやる気満々です。とりわけ子どもたちは、田んぼの中を跳ね回るカエルに興味津々で、捕まえるのに精を出していました。裸足になって田んぼに



入り田植えの開始です。日の光を浴びながら、土とふれあい楽しそうに作業が進められていきます。

また、田植え機での田植え体験も用意されていて、子どもたちは大はしゃぎ。かわるがわる運転席に座り、稲を植えていきます。真っ直ぐに植えていくのは難しく、田んぼには少々曲がってしまった跡が。それでも大満足の様子で「楽しかった」の感想が聞かれました。

美味しい野菜いかがですか



5月20日、農産物直売所がオープンしました。所せましと並べられた野菜の苗や、色とりどりの花々。この時期は、ご自宅の家庭菜園に植えるとのことで、野菜の苗を買い求める人が多数見受けられました。

また、今が旬なふきも人気を集めていました。これから地元で採れた新鮮な野菜が店先に並びはじめると、直売所もどんどん活気づいていき忙しさもピークを迎えます。定番の手作りみそやトマトジュースなどの加工品は、町内外からお客さんが押し寄せる安定した人気商品です。皆さんも一度、直売所に足を運んでみられては。

きれいな花でいっぱい

6月7日、町老人クラブ連合会（石原敏之会長）が、老人福祉センター前で花植え作業に汗を流しました。例年同クラブの社会奉仕活動として行われていて、役員、支部長ら17名が参加。花が元気に育つよう、土と肥料を混ぜ栄養たっぷりの土を作ります。約50個のプランナーに土を分け入れ、用意された150株の花を慣れた手つきで植えていきます。参加者同士の交流も図られ、和気藹々の中作業は進んでいきます。プランナーに植えられた花は、老人福祉センター前、役場前周辺に並べられそれぞれの玄関前を鮮やかに彩っています。



シーズン到来

5月23日、遊水公園うららパークゴルフ場において「第16回妹背牛町長杯PG大会」が開催され、遠くは留萌市や旭川市など全国各地からこの大会を楽しみにしていた愛好家126名が集いました。大会の豪華景品が魅力の一つ

で、優勝者には、男女それぞれホタテ100枚が贈呈され、参加者全員にも参加賞が贈られます。4名1チームでA・B・C(各9ホール)の3コースを2回した結果で順位が決められます。暖かな日差しの中、参加者たちは、気持ちよさそうにスティックを振り、ゲームを楽しみました。参加者同士の交流も図られ有意義な1日となりました。



合同チーム華麗に演舞



6月7～11日まで札幌で開催されている「YOSAKOIソーラン祭り」に出場する、「もせうしRIMUSE to 砂川彩華」、妹背牛と砂川の合同よさこいチームによるお披露目の舞が、6月8日ペル駐車場で披露されました。合同チームとなってからは今回が7回目の出場になります。もせうしRIMUSE 岡田康夫代表は、「人数が少ないので、大きな振付で、迫力ある踊りに、小学生の可愛らしさも取り入れた舞を是非見てほしい」と挨拶。小学生3名を含む16名が、雨の中、華麗な舞を披露すると、駆けつけたおよそ50名の観客からは温かい拍手が送られました。

田植えは任せて

5月25日、ふれあい農園において、例年行われている小学校、3・4・5年生による田植えが行われました。この日はとても暖かく、絶好の田植え日和。農業指導員の佐藤さんから、苗の植え方を教わり作業開始。素足に



絡みつく泥の感触に初めは戸惑っていた4年生でしたが、昨年の田植え体験を思い出し順調に作業を進めていきます。そして、4年生にはあとからやって来る3年生に苗の植え方を教えるという重要な任務が。再度、作業の内容を確認し、地域おこし協力隊のお手伝いもあり、無事に田植えが終わりました。

ハロー！メイラン先生

5月16日、1年生22名が入学後初めてALT(外国語指導助手)による外国語の授業を体験しました。

ALTとしてアメリカからやってきたメイラン先生。小・中学校を中心に英語の授業を行い、保育所園児とも交流を図っていきます。

アメリカからやってきた先生に子どもたちは興味津々。初めは国旗や花、スポーツなど様々な写真を見せて、名前を教えています。

その後は、ゲーム形式で相手の名前の訪ね方や、自分の名前の答え方などを勉強しました。いつもと違う楽しい授業に子どもたちも自然に英語を話していました。元気いっぱい

の1年生にメイラン先生も楽しく授業をされているようでした。

